

こども通信

春になったと思っていいたら、暑い日が多くなりました。今年も猛暑なのでしょうか。

日焼け対策をし、熱中症予防にも気をつけなければいけません。今年の夏場は、嫌な季節になりそうです。



ナフサ不足が徐々に広がっています。カルビーのポテトチップスの袋が白黒になるとのこと。最初は笑話のように聞こえたのですが、事態の深刻さを物語っています。

私たち医療業界も戦々恐々です。注文してもなかなか入らない。入っても、値上げが控えています。こうなっているのはナフサの供給

量が絶対的に不足しているからです。「目詰まり」ではありません。

この状況はアメリカとイスラエルによるイラン攻撃と、ホルムズ海峡の封鎖によっておきました。この戦

争をやめ、ホルムズ海峡の解放こそが、ナフサ不足の根本的解決です。政府は何をしているのでしょうか。国民の生活

に直結するこの状況の打開策を、どうしてしないのでしょうか。

何度でもいいます！
今すぐ戦争をやめよ！

当院の「わたぼうし病児保育室」が、開設から25周年を迎えます。多くの方にご利用いただき、ありがと

塚田こども医院

小児科・アレルギー科
漢方内科

上越市栄町 2-2-25
TEL 025-544-7777(代)
025-544-7779(保育室)
FAX 025-544-8456

ホームページ
www.kodomo-
iin.com



水曜午後の外来を行っています。
診療時間は午後2時～5時です。

感染症情報

インフルエンザはきれいに治まりました。次のシーズンまで半年ほどの余裕があります。今秋にはまた予防接種を受けてください。

新型コロナウイルス感染症はごく少数の発生です。前の流行から時間が経っていますので、そろそろ流行があるかもしれません。

感染性胃腸炎の発生は多くなりました。嘔吐と下痢があり、乳幼児では脱水や低血糖にならないように注意が必要です。

溶連菌感染症はやや発生が多めでした。強い咽頭痛と発熱が特徴です。抗菌薬による治療が必要です。

RSウイルス感染症やヒトメタニューモウイルス感染症が流行しています。園での集団発生があります。小さな乳児がかかると喘息のような発作を起こし、重症になることがあります。乳児を守るために、妊婦にワクチン接種をしていますが、今年4月から公費になりました。

麻疹（はしか）の発生はありません。しかし全国的には麻疹患者は出ています。大変に伝染力が強いので、十分に注意が必要です。

麻疹の予防接種は1歳代と入学前1年間の2回が必要です。1歳になったら早めにワクチンを受けてください。また大人の方がかかることが多いようです。ワクチン接種をしてあるか確認したり、必要であればワクチンを受けてください（任意接種）。重症になるのは1歳前の乳児です。生後半年以降は免疫がなく、周囲での流行などがあれば、ワクチン接種を考慮してください（任意接種）。

ついでにいます。開設当初は利用が少なかったのですが、8年後に上越市の補助事業になり利用が増えました。コロナ禍の2020年には前年の3分の1程度まで利用が少なくなりましたが、その後はまた回復。昨年度は約4000人の利用がありました（1日あたり16・6人）。

この数はとても多く、日本の病児保育でトップの成績です。これは「断らない」をポリシーにしているからだと思います。施設の都合で預かれないという状況を無くしていこうという事です。そのため保育士を多めにし、広いスペースを用意しました。何よりも子育て支援マインドをしっかりと持つことが大切だと思っています。25年を過ぎ、ますます子育てを支え続けるつもりです。どうぞよろしく願います。

医院の新構想

分院を開設します！

医院は設置から36年経っています。私は今69歳。もう少し頑張りが利くかなと思っています。

昨年11月から、水曜午後の診察を始めています。当院でも長らく水曜午後は休診でした（開院当初はやっていましたが）。周囲の小児科医院を見ても、水曜午後は診察していないのが普通でした。

それぞれの医院にとっては、水曜午後は最も患者数が少なく、休みを取りやすい状況です。しかし、市民の皆さんにとっては、水曜午後に診てもらえる小児科医院がないというのは、やはり問題でしょう。

当院はここしばらく複数の小児科医が在籍しています。代わりばんこに休むことで、トータルの実働時間は変えず、診療時間を増やすことができることに気づきました。

オンライン診療を行っています。

希望の方は予約画面からどうぞ。

そこで開始したのが水曜午後の外来です。受診者はそれほど多くはないですが、やる意味合いは十分にありました。

水曜午後という「空白時間」を埋めることができました。

●分院の開設

次に考えたのが、「空白地帯」の解消です。

小児科の分布を見てみると、上越市内で旧高田地区がすっぽり抜けています。ここ10年ほどで3軒の小児科医院が廃業し、そのあとがまだ埋まりません。少子化傾向があるとはいえ、小児科が全くないのはどうなんでしょうか。

そこで思いついたのが「サテライト・クリニック」の創設です。本院よりは簡易なものにして、検査も最小限にします。何かあれば本院や近隣の病院へ紹介します。

診療時間を午後に限ることで、医

師もスタッフも現有の陣容で供給できるでしょう。

すでに基礎工事が始まり、順調に

行けば9月にオープンできる予定です。

どうぞご期待ください。

申請地：上越市西城町1丁目字四ノ辻通146-1, 146-2



案内図